

## 食料

7/16B：おにぎり(電車内にて)

⇒塩山駅前のモスバーガーで朝食を食べようとしたが営業時間外。その周辺のお店も全部休み。(バスに乗ってから気づいたが、南口駅前の道路を右に進むとコンビニがあった。) 結局買ってきたお昼用のおにぎり 1 個だけを朝食にした…。

7/16L：おにぎり2個、たまり醤油のせんべい、カール、水

⇒おにぎりが少ないことをずっと気にしていたが、その中でも大ヒットした行動食がたまり醤油のせんべい。しょっぱくて美味しいし、おなかにもたまるような気がするし。次回も必ず携行しよう!!

## 行程表

7/16(土)

徳和(バス停)(825m) → 乾徳山登山口(990m) → 国師ヶ原(1,565m) → 扇平  
8:50 9:15 10:25/10:40 11:10

→乾徳山(2,031m) → 国師ヶ原(高原ヒュッテ) → 道満山(1,314m) → 徳和 → 笛吹の湯  
11:50/11:55 13:06/13:30 14:15 14:55 15:40  
【歩行時間:5h53m】

## 記録

- 8:08 塩山駅到着。塩山駅前のモスで朝ごはんを食べるつもりが、モスは営業時間外だった…。コンビニにも見当たらず、食糧難…。このままバスに乗る…。(ちなみに、バスに乗ってから、バスのルートにコンビニを発見…。コンビニは塩山駅バスロータリーの前の通りを右方面へ5分くらい歩けば左側にあったのだ。)
- 8:40 徳和バス停到着。
- 8:50 徳和バス停出発。しばらくは民家の中、アスファルトの道を歩く。
- 9:15 乾徳山登山口(通過)。急な登りが始まる。
- 9:35 銀品水。ちょろちょろと湧き出る水場。ここにて休憩。
- 9:43 出発。その後も登りは続き、所々には大きな岩も出てくる。
- 10:18 金品水。ここは沢のような水場。後から思えば、ここは日陰で休憩場所によい。ここを通過すると、国師ヶ原まではほぼ平坦な道。(水溜りやぬかるみもあるので注意。)
- 10:25 国師ヶ原。休憩。ここより一気に視界が広がり、山頂もくっきりと見渡せる。その名のとおり、まさに原っぱ。遮るもののない青空は気持ちよいが、休憩には暑い…。
- 10:40 出発。しばらくすると真っ白なススキの草原(!?)の中を歩く。やはり青空の太陽には照り付けられるが、気持ちよい。この両脇にススキの中に突如現れる月見岩(11:05 通過)。さらに登ると小さな広場のような扇平に出る(11:10 通過)。  
扇平を過ぎると再び樹林帯。そして、一瞬見晴らしのよい小さな鎖のある岩場を経て樹林帯。(この途中に「16」と書かれた看板を発見(11:38 通過)、もしかすると麓からチェックポイントのような番号札があったのかもしれない?? さらに岩場も混ざった樹林帯の急登を登りきるとドカンと聳え立つ鎖場。これを上りきれば山頂!! (ちなみにこの鎖場を巻いて山頂に登る道もあるらしいが、私は発見できなかった。)
- 11:50 乾徳山山頂。しかし、大して広くもない山頂にしては登山客が多すぎ。せっかくの快晴で、ゆっくりしたかったはずなのに…。山頂の写真をとって早々に引き上げる。
- 11:55 ここを通過した後も、ちょっとした平らなところで登山客がお昼ご飯を広げている。休憩できないまま、下山ルートに分岐。これよりかなり急坂を下り始める。とにかくこの下山道

の前半は傾斜がすごい!! しかも時折ルートが明瞭でなくなる。それでも後半はわりと緩やかな道となった。(12:25-30 休憩。)

- 13:06 高原ヒュッテ(無人小屋)。ここで昼休憩。
- 13:30 出発。歩いてすぐ国師ヶ原の分岐を通過。その後は樹林帯ではあるけれど比較的明るい緩やかな登りと下りが続く。
- 14:15 満尾山。通過。  
この後、何故か右膝が痛み出す…。今までこんなことはなかった、という痛み…。うまくいえないが、膝関節がずれてしまったような…。先週突然 6km 走ったことが原因か!? とにかく休み休み歩き始める。
- 14:40 分岐。バス停方面へ歩くが、樹林帯を抜けた後、突然登山道がなくなる…。なんとススキと雑草が登山道を隠していたのだ…。とりあえず不安になりつつも、その先に民家は見えるので、隠された道らしき道を進むしかなかったが、しばらくすればアスファルトの道に合流。ここより民家の中を歩く。
- 14:55 徳和バス停到着。これより温泉を目指して林道歩き。
- 15:15 T字路を左折。一気に車の通りが多くなるが、歩くしかない…。
- 15:40 笛吹の湯。

記録: 石川暁崇

## 乾徳山 2005.9.18 山行記録

本来、9/17-18 で蓼科に行く予定だったが、朝寝坊したのための計画変更。蓼科は次回のお楽しみにしておこう。

というわけで、急遽登る山を変更し、計画を立案したのが乾徳山。鎖場があることなど、噂には聞いていたが、単独山行の今回にはもってこいだっただけかもしれない。私の中では、単独山行＝トレーニングという図式が成り立つのだが(そうでも言い聞かせないと、とても一人で山に行く気にはなれない今日この頃…)、国師ヶ原～山頂付近は想像以上にスリリングな場所もあり、とてもトレーニングらしい一日となった。

快晴。しかも3連休の2日目。そのため登山客も多く、山頂付近ではとてもじゃないがのんびりのご飯を食べる、というような雰囲気ではなかった。この「山頂でまったりする」ことを実行できなかったことだけが唯一の心残りだが、樹林帯、原っぱ、ススキの草原、岩場、鎖場、急登、奥秩父360度のパノラマ…、とかなりバリエーションがあり、かつ景観も変わるがわるのルートを歩いて、やはり満足である。単独山行も無事に終わって本当によかった。

ただし今回、初めての体験が右膝を痛めたこと。今月初めに、突然6km走ってしまったことが原因かとも思われるが(これはらい別10kmマラソンに出場を決めたためなのだが…)、下山中は本当に下山できるか心配になるほど痛んだ。結局我慢しながらも歩き続ければ、そのうち痛みもごまかせるようになっていったのだが、今後の山行が心配…。これももう年のせい…。そろそろステッキかストックをもて、ということなのか…。とりあえず、膝のケアはしっかりしよう。(ちなみに、左膝はなんともない。これまたどうしたことか…。)

石川暁崇